

本願力

横浜別院だより

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院
 横浜市港南区日野一十一-八
 FAXTEL (045) 841-3434
 (045) 841-3428
<http://www.yokohama-otani.com>



【仏事についてのQ&A・七月二十九日】

無三悪趣の願い

輪番 森田 成美

「たとい我、仏を得んに、国に地獄・餓鬼・畜生あらば、正覚を取らじ」『無量寿経』十方衆生の救済を誓って建立された無上殊勝の願は無三悪趣の願いにはじまります。この第一願は、『無量寿経』の異訳經典である『大阿弥陀経』『平等覚経』(二十四願)、『莊嚴経』(三十六願)、『如来会』(四十八願)と願いの数は異なるが、どの經典も「無三悪趣の願」からはじまります。

宮城顥師は、「經典の移りゆきの中で消えていった願文、遂に新たに付け加わった願文があり、また、その順序次第もいろいろと変わっているのです。しかし、どの異訳經典にあっても、「無三悪趣の願」から願文の歩みがはじまっています。訳出された年代をざっと計算しますと、最初の訳から一番新しい訳まで、約一千年の隔たりがあるのですが、その一千年の歴史を貫いて、「無三悪趣の願」から歩みがはじまるということは変わっていないということがまず注意されます。

つまり、本願というものが起こされ、そして歩むものとなったものは、この三悪趣

の現在でありましょう。人間社会の現実、それが三悪趣としておさえられ、そしてその三悪趣の現実を深く痛む心、深く悲しむ心から起こされてきているものが、本願だといっているかと思えます」『宮城顥選集5講演集I』と述べられています。

少し長い抜粹になりましたが、現在どうしても共に大切な事として「無三悪趣の願」を確かめたかったのです。

尾畑文正師は『仏さまの願い・四十八のメッセージ』の中で、「私は三悪趣を意識的に「戦争・差別・抑圧」の現実とし、無三悪趣を「平和・平等・自由」への願いと受けとめています」と述べられています。

今年八月九日の長崎の原爆忌に平和祈念式典に長崎市がイスラエルを招待しなかったことからアメリカ、イギリス等の主要六カ国から抗議のメッセージが発せられ、大使が式典の出席を取り止めるということがありました。これに対し、長崎市長は「式典においても不測の事態が発生するリスクへの懸念からであって政治的な理由でない」とし、アメリカ大使は「安全上の理由でなく、政治的な決断だ」と語ったと報道されています。今更とお叱りを頂くかも知れませんが、この事で明確になったことが政治で戦争を止めることはできないということではないでしょうか。

『真宗児童聖典』には第一願を分かりやすく、「わたしの国に生まれたなら、いのちをきずつけ合い、欲によってうばい合い、だれかに支配されることのないようにします」とあります。

南無阿弥陀仏

— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

秋季彼岸会法要 午後1時30分より
9月24日(火)・25日(水)

【法話】小林 尚樹 師

(東京6組 光明寺住職)

お彼岸は、浄土に還っていかれた亡き人を
偲ぶと共に、自分の生活を振り返る大切な時
です。皆様のご参詣お待ちしております。

定例法話 午後1時30分より

9月9日(月)湘南組 萬福寺 荒木貴弘 師

9月28日(土)別院 列座 佐竹大樹

10月9日(水)横浜組 蓮光寺 本多崇興 師

10月28日(月)別院 列座 家本久和

11月9日(土)横浜組 高明寺 三木 悟 師

11月28日(木)別院 輪番 森田成美

※法話終了後の「座談会」開催しています。

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

11月18日(月) 午後1時30分～

2025年2月18日(火) 午後1時30分～

5月18日(日) 午後1時30分～

2025年4月14日～18日東京教区慶讃法要に
向けて、下記の内容のお稽古を行います。

「正信偈草四句目下、念仏讃洵三、和讃(弥
陀成仏のこのかたは)次第六首、回向(願以
此功德)」※『宗祖親鸞聖人七百五十回御遠
忌同朋唱和勤行集指導教本(2009年発行)』
に基づいて行ないます。

※参加費・事前申し込みは不要です。

【講師】家本久和(横浜別院列座)

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本

横浜別院同朋の会・おみがき会

10月12日(土) 10時30分～12時

本堂の仏具を磨きます。軽食あり。

《2024年度第2回声明儀式研修会》

9月26日(木)13時30分～16時30分

【内容】「横浜別院報恩講・習礼」

【参加費】無料 ※寺族対象・申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声
明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

《聞かれたお寺づくり事業》- 真宗編 -

「おたずねします- 仏事についてのQ&A」

11月5日(火)13時30分～16時

【講師】市野智行 氏 (同朋大学文学部准教授)

【内容】ご門徒を交えての仏事質問コーナー、
講師のお話など。素朴な疑問に答えます！

【参加費】1,000円 ※当日受付・申込不要

報 恩 講 ※詳細は別紙の報恩講案内

10月18日(金) チラシをご覧ください

午後1時 初逮夜・法話・御伝鈔拝読

午後4時 タベのつどい

<津軽三味線音楽コンサート>

【演奏者】矢吹和之 氏

10月19日(土)

午前7時30分 初晨朝

午前10時 初日中・法話・お斎(昼食)

午後1時 結願逮夜・法話・座談会

10月20日(日)

午前7時30分 結願晨朝

午前10時 結願日中・法話・お斎(昼食)

※19日、20日の日中法要の法話の後に
お斎(昼食)を準備しております。

【法話】加来 雄之 師

(大谷大学名誉教授・親鸞仏教センター副所長)

グリーンケアのつどい

【日時】10月12日(土) 午後2時～

12月14日(土) 午後2時～

2025年2月8日(土) 午後2時～

※参加費・事前申し込みは不要です。

編集後記

お気づきの方もおられ
るかもしれませんが、今
号は一〇〇号の記念号と
なります。内容はいつも
と変わりませんが、今
から十八年前の二〇〇六
年九月に第一号を発行し
ました。思い出されるの
は、まだどんな内容にす
るのか全く決まっていな
いまま、とりあえずスカ
スカの文章で紙面を埋め
て、別院の自前プリンター
を使って、自力でモノク
ロ印刷を数百枚行ない、
手折りで三つ折り作業を
行なうて、ご門徒さんへ
発送したことであります。
当時はまだスマホもなく、
インターネットもまだま
だ普及していませんでし
たから、新聞の作り方の
「情報」が多くありませ
んでした。今では考えら
れない状況です。本山の
「同朋新聞」も先月七月
号で八〇〇号となりました
。長い、長い積み重ね
の結果であります。次号
から新しい積み重ねがま
た始まります。(家本)